



かない ひさお
金井久男
(日本共産党安中市議員)

新庁舎建設・非鉄スラグ問題・ 都市公園について

耐震強度不足庁舎について

問 旧庁舎・中庁舎に何課、何人の職員が働いているか。

答 現在、旧庁舎・中庁舎合わせて13課、171人ほどの職員が常時勤務しています。

問 早急に、より安全な庁舎への移動について検討されたのか。

答 旧庁舎・中庁舎は耐震強度に危険性がある状態であるため、対応が必要であると認識しています。移転について引き続き検討していきます。

市民の意見の集約について

問 再度、市民の意見を聞くというが、どのようなものになるか。

答 アンケート調査は、4千人を対象に予定していますが、市ホームページやファックス、郵送等で幅広い意見を聞く予定です。

非鉄スラグ問題について

問 市内に排出していたとすれば撤去する責任があるが、なぜ明らかにしないのか。



かつては桜の名所だった琴平宮

答 市内での公共工事では確認されていません。県ではプライバシー、風評被害等を配慮して民間工事については市町村別の公表はしていません。

琴平宮の公園化について

問 松井田高校の北裏に「琴平さん」という昔からの桜の名所があるが、公園にして整備する方法があるか。

答 お宮があり、宗教上の施設と推測され、現在の状況では公園化は困難と考えます。



さくらい ひろ江
櫻井ひろ江
(日本共産党安中市議員)

太陽光発電開発への対応・新型コロナウイルス感染症対策・市の検診事業について

秋間長岩の民間太陽光発電開発の地すべり防止区域の対応について

問 令和元年12月に提出の計画は、令和2年7月に市が同意した。提出後、計画地の雨水はポンプアップして全て西側水路に流す計画に変更されたが、再流量計算をなぜ求めなかったのか。

答 排水先が県の管理水路に変更され、事業者から「県と事前協議中で、地すべり防止区域内許可申請を行う予定」との回答があり、その後、県許可の見通しがついたため、そのことも含まれているものと判断しました。

問 雨水の流末水路の安全性について

答 流末水路には、石尊山東南側からの雨水と計画地の分も流入し、豪雨等で洪水の危険が増す。市担当課内でも「この水路の洪水流量にたえる説明が必要」との見解もあり。この確認や指導・助言は行ったのか。

答 放流先水路の確認、審査は、



市内にある太陽光発電所

管理者の県において判断されるものと考え行っていない。

住民意見の反映について

問 計画書提出前事業者説明会の報告書で住民の地域の雨水流量への懸念は明らか。住民不安に寄り添い、排水先変更の説明会を指導すべきだったのでは。

答 計画変更された場合の説明会は条例で「同意となった計画において」と規定されています。その他、市の太陽光条例についてと他の2項目を質問しました。